

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火 1	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	法と政治 (現代の国際政治) Law and Politics (The International Relations)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:和達 容子 /Eメールアドレス: /研究室:環境科学部棟 3-305 /TEL:819-2729 /オフィスアワー:水曜日 12:30~13:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 授業をきっかけにして、日常的に社会および世界の動きに知識と理解をもつこと。また、その知識と理解を高めること。 授業方法: 講義形式とする。必要に応じてビデオ教材などを用いる。 授業到達目標: 現在の国際的事象の歴史的背景の概略を説明できるようにする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週の授業内容を含む) 授業内容(概要): 第2次世界大戦後の国際政治の中から欧州統合など2・3の 이슈を取り上げ、それらの出来事の発端・発展経緯や国際社会へ与えた影響について解説し、現在の国際関係にある歴史的背景について理解を深めてもらう。 第1回 授業の進め方について 第2回 冷戦の開始と終焉① 第3回 冷戦の開始と終焉② 第4回 冷戦の開始と終焉③ 第5回 冷戦の開始と終焉④ 第6回 欧州統合① 第7回 欧州統合② 第8回 欧州統合③ 第9回 欧州統合④ 第10回 地球環境政治① 第11回 地球環境政治② 第12回 地球環境政治③ 第13回 地球環境政治④ 第14回 その他の国際政治問題 第15回 全授業の総括(試験を含む)			
キーワード	欧州統合、国際関係、政治、外交、国家		
教科書・教材・参考書	教科書は未定。参考書として以下を挙げておく。あとは、授業中に適宜紹介する。 ・ 加藤秀治郎/渡邊啓貴『国際政治の基礎知識』(芦書房、2002年)。		
成績評価の方法・基準等	○期末試験(50%)。レポート(複数回)および平素の授業への取り組み(50%)。評価の仕方の詳細および授業の進め方については、第1回目の授業の際に説明する。それを理解した上で受講すること。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			